

## 第一回公判決まる！！

### 7月4日(金)午前10時15分より

### 岡山地裁 206号法廷

### 多くの方々の傍聴をお願いいたします！

萩原君の職場復帰へ向けての闘いが始まります！提訴内容の確認などで、おそらく短時間で終わる公判と思われ  
ますが、会社に**ガン!**と怒りをぶつけるためにも、多くの仲間の皆さんの傍聴支援をお願いいたします。

## 6月1日

## 萩原君を支える会結成！！

### 悩んだ末に裁判に訴える

萩原君の闘いは、配達中での交通事故を理由とした不当な雇い止めを通告され一人悩んだ末、職場の仲間  
に相談した3月1日から始まりました。JP労組からの撤回  
申し入れも「撤回はしない、内務なら雇用は望めるが、外  
務は無理」という到底納得の出来ない回答でした。

3月末の雇い止めまでになんとか撤回できないかと努  
力を尽くしましたが、非情にも萩原君の雇用は打ち切ら  
れてしまいました。しかし、ここで萩原君の腹が決まった  
のだと思います。立ち上がるべきか悩んでいた裁判闘争  
へ向けて勇気を持って舵を切り、多くの職場の仲間がそ  
れを受け止めるかたちで準備会が発足しました。

### 正規・非正規の壁を越えて



そのなかで「正規、非正規の壁を越え、全ての労働者の地位向上、権  
利獲得を目指す」という方針に依拠した、今多くの職場で失われてしまっ  
ている現場での団結が生まれました。4  
月、5月と準備を重ね、提訴と支える

会結成総会に向けて弁護士の選定、支える会賛同呼び  
かけおよび資料作成などを精力的にこなしてきました。

奥津弁護士に決まった後は、訴状作成などの打ち合  
わせ、6月1日結成総会参加への案内作成と呼びかけ、  
各地域労組団体回り、さらには県外への集会などにも労  
を惜しまず参加し、支える会への賛同を呼びかけました。  
こういった動きはマスコミにも取り上げられ、支える会賛同  
呼びかけの追風となりました。

### 職場、地域から60名を超える参加

5月23日岡山地裁へ提訴、そして結成総会が6月1日  
岡山国際交流センターに60名を超える参集を得てとりお  
こなうことができました。駆けつけた参加者が予想をこえ、  
一時席が足りないという事態が起こる中、萩原君に対す  
る会社のあまりにも無理のある雇い止め事由をめぐり、参  
加者の中から「労働者として絶対に許せない！」といった  
怒りの発言もありました。総会を通して参加者一同が「労  
働者の首切りがフリーハンドであってはならない」という共  
通認識に立つことが出来ました。さらには今、郵便現場  
で常態的に行われている過  
酷な労働実態を、取材に来て  
いたマスコミも含め、たくさん  
の人たちに知らしめることもで  
きました。(裏面へ)





## 地域の仲間とも連帯して闘う

準備期間から今日までに多くの方々に会員となって頂戴いただきました。今後闘いを進めていくなかで、この問題は郵便事業だけの問題でなく、様々な職場で労働者がひとつになり、連帯していこうとする旗印の役割を、この裁判は担っているのだと私たちは深く自覚した次第です。

## 萩原君、堂々と決意表明

2部構成であった総会後半では、奥津弁護士から萩原裁判の意義が鋭く語られ、これからの公判で争われるであろう争点についての説明がありました。今後奥津弁護士の見解は、この紙面別枠で掲載する予定ですので、司法の場で郵便事業(株)が正しいと言い張る雇い止めがどのような裁きを受けるのか、皆さんにはしっかりと推移を見届けていただきたいと思ひます。

今回約2時間の総会最後は萩原君の決意表明で締めくくられました。会社に対する怒りを抑え、参加者に真摯に訴える飾らない萩原君の態度はすべての参加者に共感を得ることが出来たのではないのでしょうか。決意のなかで「この裁判に踏み切れば、自分と同じ立場の人たちの不当雇い止めの抑止にもなる」「復帰して、また郵便配達をやりたい」と訴えました。先の見えない不安の中、萩原君からこのような力強い言葉が発せられ、みんなが萩原君を支えていこうというあたたかい気持ちと強い決意の中、総会は終わりました。

## 闘いはこれから!

予想外の盛況のなか結成総会を開催できたことは素直に喜ぶべきだとは思ひますが、ただ始まったばかり、これから第一回公判を控え、ひとつひとつ確実にやるべきことを、萩原君を中心に奥津弁護士



と、支える会会員になっていただいた皆さんと事務局とが一体となって勝利に向かって進んで参りたいと思ひます。

最後になりましたが、多忙の中、萩原君のために結成総会へ参加くださった皆様、そして連帯のメッセージをいただいた方々には事務局一同厚く御礼申し上げます。そしてまたお願いになるのですが、これからの公判が本番です。なにとぞご支援のほど、よろしくお願ひいたします。

萩原君を支える会事務局一同

お礼

結成総会に参加いただいた皆様、また支える会に入ってくくださった皆様、大変ありがとうございます。提訴し、総会が無事終了し、初公判の日程が決まり、私はやっと一息つけたという感じですが、これもひとえに皆様のご支援があったからだと思ひます。

これから先の、公判が一番重要です。これらもご支援をいただけたらと思ひております。どうぞよろしくお願ひいたします。 萩原和也

【08年6月2日朝日新聞より】

元郵便期間雇用社員

地位確認訴訟で

同僚ら支援の会

一方的に雇用契約を更新しないのは不当として、郵便事業会社を相手に地位確認などを求める訴えを岡山地裁に起こした同社の元期間雇用社員、萩原和也さん(27)と岡山市の裁判を支援する会が1日、同市内で発足した。裁判を傍聴するほか、同社に約6割いるという非正規職員の労働環境改善を目指すという。

発足式には、萩原さんの同僚ら約50人が参加。萩原さん

と同じ職場で働いたこともある小倉博司代表は「紙切れ1枚で雇い止めを告げるなど、許されたいと思う。裁判で支えていきたい」とあいさつ。「配達中の交通事故が契約更新中止の理由とされているが、きつい勤務を押しつけた結果。労災のようなものだ」「裁判を通して、すべての非正規労働者がいつクビになるかにビクビクせずに、半年後や1年後を見通せる雇用環境を築きたい」などの意見が次々と出された。

「萩原君を支える会」への加入、闘争資金カンパをお願いします。また、お知り合いをご紹介ください。どこへでも出向いてまいります。年会費一口500円

加入者名「萩原君を支える会」

口座番号 01320-4-86685